

令和3年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 白江学園
熊野幼稚園

当園ではこの度、令和3年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、並びに関係者の皆様のお力添えをいただき、学校関係者評価を実施いたしました。本年度の学校法人全体での重点目標を「身近な人と親しみ、人と関わる力を養う」と設定し、その目標を達成するために、学年ごとで具体的な目標を設定し、学校評価に取り組みました。

重点目標以外にも、何点かの目標を設定し、取り組みましたので、その取組みを本シートに纏め、公表いたします。

I. 教育目標

教育のモットー

熊野幼稚園は、子どもたちの明るい未来を築きます。

教育目標と理想

- ・「すこやかな健康」
- ・「ゆたかな情操」
- ・「生き生きとした自主性」
- ・「すぐれた知性」

その人の一生を決定する、大きな要素となる「すこやかな健康」「ゆたかな情操」「生き生きとした自主性」そして「すぐれた知性」を自然に、しっかりと子ども一人ひとりの内に育むことを目的とし、将来どんなことがあっても自分で考え、正しく判断し、乗り越えていく、健やかなからだところを育てることを理想とする。

II. 今年度の重点目標

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する力を養う。

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	取組み状況
1	【年長】 相手の話す言葉を聞き、表現する力を養う	A 制作物の結果よりもどのようにして、もしくは何を考えて作ったのか等、プロセスを聞くようにして表現する力を育んだ。日常生活の中では質問方法を工夫し、「はい」「いいえ」の返事にならないような質問（拡大質問）を心掛けた。保育者からの問いかけだけでなく、子ども同士でもお互いの行動に興味を持ち、やり取りできる場を作る。
2	【年中】 自分の気持ちを言葉で表現し伝える	B 物の貸し借りの際など、子ども同士で自分の気持ちや思いを表現できるように仲介して伝えられるように促した。少しずつだが言葉で伝えることができるようになってきたように見受けられた。人前で表現できる機会を作る機会を検討する。
3	【年少】 生活の中で必要な言葉がわかり使う	A 挨拶と感謝をシチュエーションに合った言葉で言える様にする。物の名前を覚えられるように取り組んだ。徐々に向上していったように思うが、登園時の「おはようございます」をもっとしっかり言えるように働きかける必要があると考えている。

令和3年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 白江学園
熊野幼稚園

評価項目	取組み内容	取組み状況
4	園として業務効率面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施しましたか？	B 事務作業や管理のデジタル化を推進し、業務効率の向上を図った。園全体の業務効率の向上には貢献したが、個人レベルで業務の見通しを立てる計画性や、報告の精度、行動力にける部分があった。業務効率だけを指すと自分のできる仕事や得意な仕事だけに携わる事になるので、バランスを取りながら全体最適を目指す。
5	園として安全・衛生面における問題点は何であると認識しており、どのような取組や行動を実施しましたか？	A 消毒の声掛けは当然のこと、給食時にパーテーションを立てる、部屋の机は1つずつ離して置く等の感染症拡大防止に取り組んだ。コロナウイルスに関しては落ち着く傾向にあるが、引き続き感染症対策は実施する。保育室の整理整頓等、基本に立ち返って改善する。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	業務効率化	個人に仕事が偏らないことや、勤務時間内の業務終了、他人へのフォローができる体制を作る。
2	安全・衛生面の検討	継続してコロナウイルス感染の予防に努め、創意工夫しながら強化していく。

V. 学校関係者の評価

- ・ 昨年も一昨年に引き続きコロナウイルスに振り回された1年だったと思います。
- ・ 本年度の評価結果を見て分かる通り、教職員1人1人が安全面の強化・予防の徹底を新常識とし、その上に業務効率の向上を目指したことは評価するべき点だと考えます。
- ・ これからも保護者・地域から愛される熊野幼稚園を支援したいと思います。

